

おっみネット

●発行日 / 2012年3月1日 ●発行所 / 公益財団法人 淡海文化振興財団

元気印 NPO ①

楽しい子育てを
サポートしたい

子育て支援

特定非営利活動法人
チツチキンダーガーデン

2

特集★OHMI視点①

未来ファシンドおっみフォーラム

「一人ひとりができること
あなたの寄付からはじまる絆」

世間よし〜企業の社会貢献〜

オーパル・オプテックス株式会社 ⑤

NPOの「IT活用術

NPO法人 おっみ犯罪被害者支援センター⑥

元気印 NPO ②

食品だけでなく、
心も届けたい

4

生活支援

COMPASS

元気印 NPO ③

豊郷の人みんなを
元気にしたい

スポーツ

特定非営利活動法人
アザックとよさと ⑥

未来ファンドおうみフォーラム

「一人ひとりができること
あなたの寄付からはじまる絆」

市民の想いをこめた寄付で市民活動を支える「未来ファンドおうみ」。「一人ひとりができること」をテーマに、身近なところから意識して行動することで社会が変わることや、寄付が つなぐ人々の絆について考えていただき、県内の市民活動団体と交流していただく「未来ファンドおうみフォーラム」を開催しました。

日時：2012年1月28日(土)
13:30～17:00
会場：ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)
ピアザホール
共催：公益財団法人滋賀県国際協会
財団法人滋賀県体育協会
※滋賀県新しい公共支援事業受託事業

基調講演

一人ひとりができること

アルピニスト 野口 健さん

自分の国を否定された悔しさが、
活動の原点

私は登山を始めてもう二十三年目になります。エベレスト清掃や富士山の清掃活動などの社会貢献活動を始めたのは後半になってからです。最初のきっかけは、エベレストの登頂に一度失敗し、二度目に挑戦したときのことでした。ベースキャンプで他の国からきた登山隊の人たちと話していると「日本人はゴミを放置して帰っていく、経済は一流かもしれないが文化、マナーは三流だ」と言われたんです。「富士山は世界一汚い山だと聞いているゾ」とも言われて、自分の国を世界の舞台で否定されたことに、大きなショックを受けました。その時は悪天候で登頂も断念し、後味

の悪い思いで帰国したんです。一九九九年に三度目の挑戦で登頂を果たした後「もう冒険は終わりだ」と就職活動を始めたのですが、記者会見で「次はどこに挑戦するんですか」と聞かれて、つい「次はエベレストに清掃登山

に行きます」と言ってしまった。後に引けなくなつて活動を始めた、というのが本当のところでは、実は環境問題を意識した

のではなく、動機は自分の国を否定された悔しさだったんですね。それがずっと心の中にあつたのだと思います。

活動に託した思いは、コツコツ
続けてはじめて伝わる

私が登山を始めたそもそものきっかけは、高校生の時に暴力事件を起こして停学になったことです。その時、冒険家・植村直己さんの著書「青春を山に賭けて」に出会って、自分の出来ることをコツコツと続けていけば何か出来る、そして最終的には多くの方が理解してくれるんだと感じました。環境問題や社会貢献なんて、その頃は考えたことも

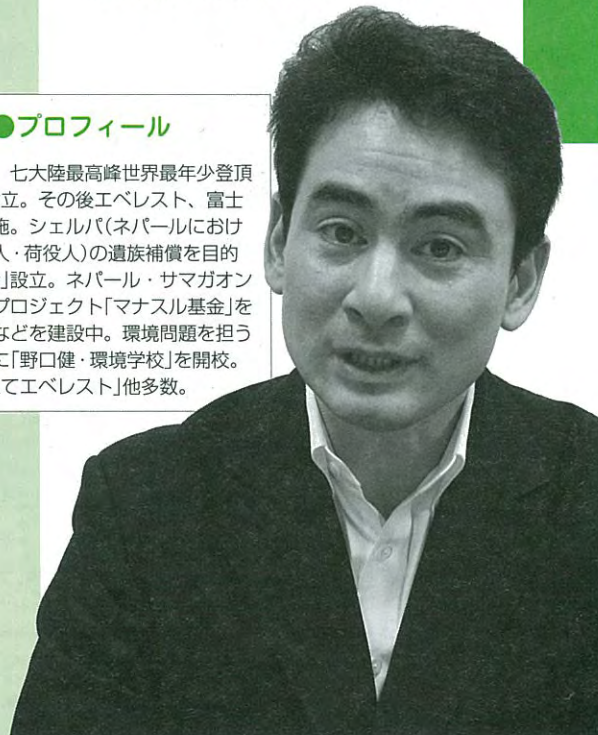
野口健さん●プロフィール

アルピニスト、七大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。その後エベレスト、富士山清掃活動を実施。シェルバ(ネパール)における登山隊の案内人・荷役人)の遺族補償を目的に「シェルバ基金」設立。ネパール・サマガオン村に学校を作るプロジェクト「マナスル基金」を立ち上げ、校舎などを建設中。環境問題を担う人材育成を目的に「野口健・環境学校」を開校。著書「落ちこぼれてエベレスト」他多数。

れていくということを実感しました。

なかつたのですが、実際に活動してみても、コツコツ続ければ理解さ

どんな活動でもそうですが、始める時には「自分は正しいことをするんだ、だからみんなも分かってくれる」と思っているんです。ところがいざ動き出すと、いろんな意見が出てきます。例えばエベレストの清掃活動を始めると、そこで初めて「エベレストはゴミだらけだ、日本語のゴミが散乱している」という情報が流れたんです。すると山岳会の方からは「売名のために先輩を裏切った」「過去の功績に泥を塗った」と言われました。富士山を世界遺産にするために清掃活動をしように、と呼びかけたときも、地元の人からは「世界遺産になれば入山規制を行わないといけなくなるから困る」と否



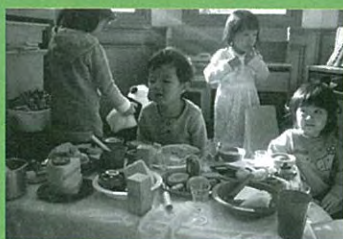


特定非営利活動法人 チッチキンダーガーデン

代表●山口育子(理事長)
設立●2005年
会員●122名
連絡先●大津市仰木の里7丁目18-1
TEL: 077-573-1099
E-mail: info@titti.or.jp
URL: http://www.titti.or.jp/

すてきな親子を つくるために NPOチッチの挑戦

チッチの活動は今から16年前、大津市横木の自宅を開放してのプレ幼稚園活動に遡ります。“いっこさん”こと理事長の山口育子さんは、自身の子育て中にアドラー心理学に出会い、その



▲わぁー、どれから食べよう…
自由遊びのひとコマ

考え方、子どもへの向き合い方に大いに助けられたといいます。そしてもっと多くの子育てで困っているお母さんたちに、この新しい子育てを知ってもらい、楽しい子育てをしてほしいと願い、活動を始められました。

具体的には、週に3日、3歳児を対象にプレ幼稚園をされています。少人数で、家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとりを丁寧にみることを大切にされています。この保育事業を中心に、卒園児のお泊まり体験やサマーキャンプ、保護者が困りごとを相談できる「あらどの会」などがあり、最近ではママのOG会やパパの会も立ち上がり、子どもも親もまるごと、未永く、子育てに付き添うことになっています。



▲みんなでかきた 自由遊びのひとコマ

事業の採算や、最近の働きたい母親の増加傾向を考えれば、保育園のほうが望ましいのかも…とも考えられますが、チッチのミッションは「すてきな親子をつくる」こと。フルタイムで働く親のための預かり中心でなく、様々なライフスタイルの家庭で、親自身のその人らしさも大切にしながら、楽しく子育てができることをサポートしたい。この考え方は「すべての子育て家庭を支援する」という、今の子育て支援施策の考え方とまったく合致していますが、今後の課題は事業の継続と発展のための、人材育成とマネジメントです。

(おうみネットサポーター 平井育恵)

(おうみネットサポーター 平井育恵)

定的に捉えられたんです。ですから、すべての人から好かれようと思うと、活動出来ません。かといって、自分だけ楽しいけれどもいいものでもいけません。そこが難しいのですが、コツコツ続けていくうちに、だんだんと伝わっていくこともあると思っています。

活動は人間社会が相手だから一人ひとりの取り組みが力になる

富士山の清掃活動も、今年で十三年目になりました。登山道の清掃活動と、樹海に不法投棄されたゴミの清掃活動

に取り組んでいます。活動を始めた頃は一緒に活動してくれる人も少なかったもので、拾っても拾ってもゴミは減りませんでした。そこでキャンペーンを行って参加者を募集したところ、四年目には六百人と増え、六年目ぐらいいから千人単位で一気増加、昨年は約八千六百人の方が参加してくれました。これだけの方が活動するようになると、ゴミは目に見えて減ります。逆に気軽にゴミを捨てられない雰囲気が出てきます。今では、富士山のゴミはほぼゼロになりました。樹海の不法投棄については、山に捨てられたゴミとは違って犯罪性の高い、

悪意のゴミです。初めて地元の方に案内されて現場を見せられた時には本当にショックでした。使用済みの注射器やタイヤ、車のバッテリーなどが山積みになっていて、遠くから見るときれいな富士山も、麓に踏み入るとみるとこれだけの不法投棄がある、という事実が日本の社会の縮図を見た思いがしました。環境問題は自然が相手というイメージがありますが、実際に取り組んで実感したのは、問題を起しているのはあくまで人間だということです。ですから、どこまでも人間社会を相手に活動していかなくてはなりません。これは、これ

から日本をどんな国に創り上げていくか、ということにつながっています。そう考えると夢がありますし、夢があれば踏ん張ることができます。もう一つ言えることは、活動を続けるうちに仲間が増えてきます。そして、周りの人をどんどん巻き込んでいくことができるようになります。私の場合は腰の重かった環境省や地元の自治体も動くようになりました。一人ひとりの力が結びつくと、人間社会に問題意識を広げていくことが出来るのです。今活動に取り組んでいるみなさんも、ぜひその思いを広げていってください。

■NPO法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ
パキスタン北東地方で1993年より植林活動を続け、医療・女性教育・保健衛生活動、教育・学校建設を行う。
☎077-534-0984

■NPO法人鳩の街
高齢になっても心身に障害をもっている、住みたい所に住み続けることができるよう「支え合いの街づくり」を展開中。
☎0748-77-5546

■滋賀子育てネットワーク
「子育てしやすいまち・滋賀をめざして！」をテーマに活動。未来を担う子どもたちの育つ環境”に環境を持ってほしい。
☎080-5302-9018

■NPO法人外国籍住民自立就労協会
日本に在住する外国籍住民に対して、その自立と安定した就労の為に支援に関する事業及び相談、研修事業等を行う。
☎077-561-5110

■NPO法人アンダンデ参画21
超高齢社会で高齢期を迎える私たち。住み慣れた地で、可能な限り自立して、いきいき・ゆったり暮らせる地域や人創りに向けて活動中。
TEL:0749-23-0007

■山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会
新炭林として利用されてきた山門水源の森の「生物多様性」を保全するため年間200日余活動中。
☎077-578-4998

■NPO法人たかしまプロデュース
住民コミュニティ、災害対策、産業・観光振興などを目的としたコミュニティ放送局の開局に向けて奮闘している。
☎090-9887-2905

■NPO法人CASN
チャイルドラインの開設・遊びの場の提供や遊びを教える人たちの育成・子育て支援に取り組む。
☎077-537-5922

■NPO法人どこでも介護
「旅のごほうび」をテーマに、要介護者の旅行、外出の支援に取り組んでいる。「あなただけの旅をお手伝いします」。
☎090-3675-1088

■おうみこっこん夢つむぎ
休耕地に綿を栽培し、糸つむぎ・染め・織機など綿体験を通して地域振興・ものづくり教育を進める。
☎0749-43-7201

■NPO法人大津夜まわりの会
貧困問題を解決し、社会福祉に寄与することを目的に、生活問題を抱えている人々に対する支援活動を行っている。

■一般社団法人比良里山クラブ
里山保全を初めて9年目。山の整備活動のほか、子どもたちの環境学習や自然体験、菜園セミナー、シンポジウムなどに取り組む。
☎077-527-2833

■NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク・しが
子どもに関わっている人たちが手をつなぎ、子どもの虐待問題に取り組む市民団体。
☎077-567-2181

■NPO法人健康づくり0次クラブ
長浜市を人と人との「つながり」を通して、心も体も健康なまち、誰もが心豊かに暮らすまちにしたいと活動中。
☎0749-50-3191

■NPO法人愛のまちエコ倶楽部
あいうえおエコプラザ菜の花館を指定管理事業者として運営。農業資源等を利用した地域交流体験から地域の活性化を図る。
☎0749-46-8100

■NPO法人びわ湖トラスト
湖中の継続調査とナノバブルによる水質保全、水源の森である朽木の巨木林の再生保全、環境教育、啓発活動、湖岸美化活動を行う。
☎077-522-7255

■NPO法人大津祭曳山連盟
昭和27年に発足、平成16年12月に大津祭のさらなる発展と地域活性化・青少年の健全育成をめざし法人化。
☎077-525-0505

■ワールドアミーゴクラブ
多文化なルーツをもつ、多様な背景の子どもたちを支援するグループ。学習支援、日本語支援、居場所づくりの活動を行う。
☎0748-36-5552

■COMPASS
様々な事情により1日3食確保できない人が県内にたくさんおられる。このような方々に食料を無償で配給する活動を行う。
☎080-3804-4425

■NPO法人芹川
市が整備できない芹川に隣接する公園予定地を借り、市民活動団体や地縁団体が協働して整備、利用をすすめている。
☎0749-23-8272

■NPO法人滋賀いのちの電話
日本の自殺者数は毎年3万人を超える。自殺未遂者は、あなたも自殺予防に手をかけてください。
☎077-552-1281

■NPO法人MOSスポーツクラブ
8年目を迎え、スポーツ施設の指定管理者となり、地域の皆さまの健康づくり、絆づくり、まちづくりに貢献している。
☎0749-55-8020

■さざなみスポーツクラブ
1年間の活動の集大成に会員や地域の皆さまを巻き込んだ親睦・交流の場を開催。
☎077-532-4968

■こうかサスケくらぶ
自分のために生かせる時間が見つけれたら、その時間を楽しく有効に使ってみたいもの。体力の維持増進を図るための活動を展開。
☎0748-88-5900

「寄付が伝えるメッセージ」 報告

公益社団法人日本フィランソロピー協会

ペニーハーベストプログラム



団体名	Common Cents
URL	http://www.commoncents.org/
代表者名	Teddy Gross
所在地	Common Cents, 570 Columbus Avenue New York, NY 10024
設立年	1991年
活動内容	4歳から14歳の子供を対象としたペニー(小銭)を集める募金活動「ペニーハーベスト」によって集まった資金をNPOに提供する活動を行っている。参加者: 926枚(NY州 2009) 募金額: 延べ770万ドル

「ペニーハーベストプログラム」はアメリカのNPOが開発した寄付教育プログラムで、主に4歳から14歳の子どもが地域の家を訪問して行う募金活動です。年間を通じて学校の授業と連動していること、募金の目的や集め方、寄付先を子どもたち自身が話し合って決めるという特色があります。私たちはこのプログラムを日本でも進めていきたいと活動しています。昨年夏、試験的に東京杉並区の中学校で10日間のプログラムを実施しましたが、子どもたちがどんどん積極的になっていくのが印象的で、子どもたち自身が社会を変える力を持っていることを教えられました。こうした子どもたちの心を大切に、引き出していく役割を果たしていきたいと考えています。

■公益社団法人日本フィランソロピー協会
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル244区
TEL: 03-5202-7580 URL: <http://www.philanthropy.or.jp/>

大津市ボランティア連絡協議会

レインボウハートプロジェクト



東日本大震災により被災した子どもたちに、手作りの給食袋を届けようというプロジェクトを昨年6月に実施しました。インターネットで呼びかけたところ、北は北海道から南は沖縄、さらにアメリカからも給食袋が届けられました。袋には、作った方からのメッセージカードも入れてもらい、福島県内の66の小学校・幼稚園に計1万970枚の給食袋を手渡して届けました。その後、給食袋を受け取った子どもたちから届いたメッセージを展示する「メッセージ展」を大津市役所で開催。また作り手の方に届いたメッセージを報告したところ、感謝の手紙を多数いただき、見えない絆をつなげていく活動に取り組みめたと実感しました。また出来る事があれば続けて取り組んでいきたいと思っています。

■大津市ボランティア連絡協議会
〒520-0047 滋賀県大津市浜大津4-1-1明日都浜大津5F 大津市社会福祉協議会内
TEL: 077-525-9316 URL: <http://www.otsu-vf.net/>

生活支援



代表●太田茂雄
 設立●2010年
 スタッフ●3名
 会員●7名
 連絡先●大津市青山5丁目1番18号
 TEL : 080-3804-4425
 E-mail: COMPASS.Esperanza@gmail.com

命の糧をつなぐ、「フードバンク」。 一人ひとりの未来に 光が見える方向へ。

「命の糧をつなぐことが、我々のミッション」。代表の太田茂雄さんは、真剣な表情でそう語ります。生活に困っている人に食品提供を行う「フードバンク」。滋賀県内でも数少ない事業として、福祉事業所などの施設だけでなく、支援先に直接届けているのが特徴です。

民間企業や農家、他のフードバンク団体と連携し、湖南・甲賀地域を中心に県内40～50世帯に食品を届けています。支援先のなかには、

日系ブラジル人やペルー人など在外外国人も多くいます。

食品を支援先に直接届けている太田さんは、「血の通ったコミュニケーション」を心がけています。「食品だけでなく、心を届けるようにしないと」と、優しい想いと気持ちを胸に活動しています。

太田さんは、他の組織でフードバンク活動を開始。その後知人と出会い、社会的意義が高いと感じて独自に事業をはじめました。豊かと思える日本でも毎年餓死者がいます。県内も例外ではなく、県内からの餓死者をゼロにしたいと言い、「コンビニで毎日廃棄されるお弁当を一つでも分けてくれれば滋賀は変えられる」。今後も事業への理解を広めます。

休耕田を活用して支援先と有機栽培の農業や、交流のある組織と学用品のリユース活動にも取り組んでいます。

支援者の自立や笑顔が見られたときは、活動を続けて良かったと思える瞬間。支援先が自立して、逆にフードバンクの支援をしてくれたときは本当に嬉しかったエピソードです。フードバンクはこれから、より注目されるべき大切な取り組みです。

(おうみネットサポーター 吉田遊介)



▲フードバンクの食品をこれから生活困窮者に届けます。

パネル出展団体紹介



滋賀県内の市民活動団体31団体がポスターで活動紹介をし、来場者とにぎやかに交流しました。

■NPO法人絵本による街づくりの会

絵本から広がる“出会い・体験・感動”を合言葉に、「こどもの笑顔がふれる街に」「豊かな心を育む街に」を目指して活動しています。

☎0740-27-8156

■NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター

滋賀県公安委員会指定NPO法人として滋賀県、滋賀県警から犯罪被害者に対する相談事業を受託。電話や面接による支援、裁判所等への同行などを行う。

☎077-527-5310

■市民活動団体ががやき

鬱、ひきこもり、自殺の問題に長期的、継続的な支援が求められている中、自らの回復経験をもとに支援活動を展開。

☎090-3276-3733

■NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動 一粒の会

ヴォーリスが建築を通して語りかけるものを伝えるため、ヴォーリス建築の保存再生、地域コミュニティ育成などを行う。

☎0748-33-6521

滋賀レイクスターズ

レイクス・スポーツファンズ



この取り組みは、震災の復興支援活動をきっかけに生まれました。多くの募金や救援物資が届けられたことを通して、レイクスターズが社会的な活動を託しやすい公共の団体だと皆さんから受け止められていることに気づき、地域のスポーツ活動を支援する「スポーツ・ファンズ」の設立を思い立ちました。興行収入の3%、新たに創刊した情報誌「Lakes」の広告収入の3%、そしてファンクラブの会費の10%をファンズの原資に充当し、情報誌でスポーツをしている県内の個人や団体を募集して、10～20万円単位で助成していこうというものです。その活動を紹介し、ゆくゆくは法人格を取って地元のスポーツ基金として地域スポーツを育てていきたいと考えています。

■株式会社滋賀レイクスターズ

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜4-7-5オプテックスビル3F
 TEL : 077-527-6419 URL : <http://www.lakestars.net/>

市民活動への期待

「Bizカフェで地域を元気に」

私の勤務する公益財団法人滋賀県産業支援プラザでは、県内の中小企業を総合的に支援することで元気な企業づくりを目指しています。今回は当プラザが取り組んでいる「ビジネス(Biz)カフェあきんどひろば」の活動を紹介します。

これは起業に関心のある方々をはじめ、地域や企業などから多様な人々がつどい、共に学び考え交流できる場として5年前にスタートしたもので、現在、大津、草津、米原、東近江の4カ所で年間20回ほど開催しています。毎回30～50名ほどの参加があり、先進的な取り組みをされている方のお話をうかがったり、多彩なアイデアやビジネスプランのプレゼンテーションや意見交換に花が咲いています。自由で気軽な雰囲気の中でいろいろな分野の方々との交流を通じて新たな刺激や気づきが得られると大変好評です。

コミュニティービジネスなど地域とのつながりの深い話題もありますので、ぜひ一度のぞいて見られてはいかがでしょうか。市民活動の新たな出会いや交流が始まるかもしれません。

詳しくは<http://bcacafe.shiga-saku.net/>
または<http://www.shigaplaza.or.jp/> をご覧下さい。



公益財団法人滋賀県産業支援プラザ
常務理事 中村 吉紀さん

人と企業と NPOをつなぐ

HI・RO・BA



地域力を高める メッセージコーナー

世間よし ～企業の社会貢献～

企業に限らず、市民と行政、行政と企業などの、新しい市民協働（パートナーシップ）のカタチを紹介します。

SEKENYOSHI

オーパル・オプテックス株式会社

TEL : 077-579-7111 FAX : 077-579-8135
URL : <http://www.o-pal.com/index.html>

琵琶湖に親しむ環境学習の体験ができる場所「O'PAL」

みなさんは、琵琶湖でカヌーをしたことがありますか？大津市の雄琴に、アウトドアスポーツが体験できるO'PAL（オーパル）という施設があります。O'PALは、1990年、親会社であるオプテックス株式会社（小林 徹 代表）の福利厚生施設としてはじまりました。今回は、運営会社であるオーパル・オプテックス代表取締役社長の山脇秀鍊さんにお話を伺いました。

今では、年間1万人以上が利用されています。もちろん純粋にスクールなどアウトドアスポーツを楽しむ方もおられますが、特徴的なのは琵琶湖をフィールドとした環境学習の体験です。夏休みになると、子ども会や、スポーツ少年団、環境系の



▲ヨシ帯をカヌーで観察

NPO、小中学校の修学旅行生など子ども達でにぎわいます。カヌーを自分で操縦し、ヨシ帯を観察したり、外来魚をしらべるなど普段できない様々な体験ができます。

課題としては、安全性、信頼性の確保です。そのためには、担うスタッフの適正な人数の確保が必要です。山脇さんは、「このオーパルの取り組みを知ってくださっている地域の方々にサポーターとしてたくさん参加いただいています。また、親会社の社員がボランティアで関わってくれることもあるんですよ。」と嬉しそうに語ってくださいました。会社と地域との活動の輪が広がっていることを感じることができました。

今後の展望は琵琶湖でアウトドアスポーツを経験した子ども達がスポーツ選手へ羽ばたいていく夢です。「せっかくの琵琶湖ですので、これからいろいろな体験でたくさんの方に琵琶湖に親しんでもらいたい。」と山脇さん。ぜひ、これからの春の暖かい季節、O'PAL（オーパル）で琵琶湖を感じてみてはどうでしょう。

（淡海ネットワークセンタースタッフ 膽吹憲吾）



▲取材に対応いただいた山脇さん

スポーツ



NPO法人 アザックとよさと

代表 ● 今村一夫
設立 ● 2007年(2009年4月に法人化)
会員 ● 237名
連絡先 ● 犬上郡豊郷町下枝147
TEL : 0749-35-2550 FAX : 0749-35-2930
E-mail : azac-toyosato@friend.ocn.ne.jp

いつでも誰でも 気軽にスポーツに参加して、 豊郷町民みんなずっと健康に！

「総合型地域スポーツクラブ」って聞いたことがありますか？学校の部活や企業のクラブでの競技だけでなく、国民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるように、全国の各市区町村に総合型スポーツクラブを設立するという目標が「スポーツ振興法」(現：スポーツ基本法)



▲事務局長の大橋さん

で定められました。それを受けて、体育振興にかかわる豊郷町民が集まって設立したのが、「アザックとよさと」です。

クラブ名は、豊郷町の花である「つつじ」(英名：アザリア)



▲おじいちゃんと一緒に、餅つきに挑戦！

に由来し、「集落(字：あざ)を繋ぐ」という思いも込めて「アザック」とつけられたとのこと。設立当初は、夏休みなどにスポーツイベントを実施しながら運営体制を整えていき、2年前、豊郷スポーツ公園の指定管理者として運営全般を受託したことが、更に活動の充実に繋がりました。

定期開催されているよさこ

いソーランやウォーキングなどの教室を始め、バドミントンや卓球、ビーチボールなどのサークル活動をサポートしたり、四季折々の体育・文化イベントを開催したりと、子どもからシニア世代まで楽しめそうな企画が盛りだくさん。事務局スタッフは4名で、教室やサークルに参加する方々がボランティアで各事業の運営にかかわってくれているそうです。

地元のお店などで子どもたちと会うと「アザックのおっちゃん」と親しみを込めて呼ばれるという事務局長の大橋さんは、「アザックとよさと」があることで、豊郷の人たちみんなが元気になってもらえたら、と語ってくれました。

(おうみネットサポーター 高田友美)

NPOのIT活用術！

特定非営利活動法人 おうみ犯罪被害者支援センター
<http://homepage3.nifty.com/ovsc/>

相談したいと思っている人に 必要な情報を見やすく紹介



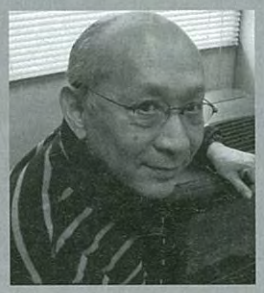
2007年から運用してきたホームページを今年1月にリニューアル。それまではイベント写真がトップページに多数掲載されていましたが、「一番大切なポリシーがわかりにくかった」ことから、最初に読んでもらうとトップページに表示するように。そして「やはり活動の主は相談」ということから、まず相談案内に目が留まるように工夫されたそうです。HP担当の松村さんは、「電話してこられた方に『どこでこの活動を知りましたか』と聞くと、ホームページを見た、という人がとても多く、ネットの効果を実感しています」とのこと。携帯電話から利用できるようQRコードを表示、また聴覚障害者のための相談用ファクシミリ設置のご案内など、幅広い人に届いていくための工夫が感じられるサイトです。

おうみ未来塾 リレーエッセイ

可塑性のある人生

10期生 芝 浩市
グループ：おうみこっとな夢つむぎ

おうみ未来塾で「おうみこっとな夢つむぎ」の活動に参加したあと、京都の一般財団法人地域公共人材開発機構を経て、現在はNPO法人気候ネットワークの職員として勤めています。京都議定書が生まれたときに重要な役割を担った市民のネットワークが基礎になって発足したこの団体は、地域からの温暖化防止、国際交渉の調査・研究、再生可能エネルギーの積極的な推進といった政策提言などの専門性が特徴の組織です。私の担当は組織基盤強化をはかるための広報、ファンディングで、今年も改正NPO法のもとで認定NPO取得をめざしています。



私は企業に在職中「持続可能な社会」をつくるためにこれまでと違った形で社会に働きかけたいと考えるようになり、早期退職し、非営利組織でのキャリアにすすみました。

未来塾の2年間で学んだことは今の自分自身のベースになっていると思います。特に入塾のときに知った「可塑性」という言葉は、人生を粘土で何かをこしらえていく(こねる。かためる。つける。くずす。またこねる。…)イメージをもってとらえるきっかけを与えてくれました。最近、一緒に働くインターンの学生さんが、しっかりした目標意識を持つと短期間でも急に成長する、そんな場面に遭遇し感動することもNPOで働く楽しみのひとつになっています。

寄付 未来ファンドおうみ
「びわ湖の日基金」応援!
寄付つき商品のご紹介



▲滋賀のめぐみをいっぱい味わえるカレーとかぼちゃのスープです。

びわ湖の日制定30周年を記念して、市民による琵琶湖につながる環境保全活動へ助成を行う基金を開設しました。琵琶湖に思いを寄せる方々の寄付によって助成が行われます。

お買い物で応援いただける寄付つき商品に新しく「滋賀まるごとカレー」「滋賀まるごとかぼちゃスープ」が加わりました。店頭で見つけたら、ぜひお買い上げください。

■お問い合わせ

滋賀の素材を活かした商品を開発する株式会社いのうえまで。TEL: 077-522-7352

寄付 未来ファンドおうみへ
抱きしめてBIWAKO実行委員会さまから
ご寄付いただきました。

2011年11月6日、びわ湖の周りをぐるっと人の輪で囲みびわ湖や命のつながりを感じる「抱きしめてBIWAKO」が開催されました。約16万人が手をつなぎ、集まった寄付の一部660,076円を「びわ湖の日基金」へご寄付いただきました。



左：BIWAKO実行委員会 代表 藤原 誠二氏
右：滋賀県協議会 善行実行委員会 代表 藤原 誠二氏
中央：感謝状贈呈

市民による琵琶湖や琵琶湖につながる河川、森林などの年間をととした環境保全活動や調査活動へ助成させていただきます。

イベント 未来ファンドおうみ
助成事業2011成果発表会

2011年4月～2012年3月まで、未来ファンドおうみ助成事業2011の採択を受けた8団体が成果発表を行います。おうみNPO活動基金の助成団体4団体、びわこ市民活動応援基金の助成団体4団体が発表します。助成金の申請をお考えの方、市民活動にご関心のある方、ぜひご来場ください。

◇日時：4月14日(土)午後
◇会場：県民交流センター(ピアザ淡海) 207会議室

※「淡海のつなぐ、ひろく、みらい賞」発表の同時開催

※詳細は、当センターHPに掲載いたします。

イベント 滋賀県NPO法人調査中間報告会
(滋賀県新しい公共支援事業委託事業)

淡海ネットワークセンターでは、2011年12月から2012年3月まで、滋賀県内のNPO法人の現状とマネジメント支援に対するニーズについて調査を行いました。調査から見えてくる現状や課題について中間報告会を開催いたします。基調講演では、川北秀人氏(IIHOE)に全国NPO法人の現状やマネジメント支援の現場からお話しいただきます。滋賀県のNPO法人の現状を知り、これからの市民活動が向かうべき方向などについてご参加のみなさんと意見交換したいと思っております。みなさまご参加ください。

◇日時：3月22日(木) 13:00～16:30
◇会場：県民交流センター(ピアザ淡海) 207会議室

※詳細は、当センターHPに掲載いたします。

募集 おうみ未来塾第12期塾生募集説明会
あなたも「地域プロデューサー」
を目指しませんか!

「おうみ未来塾」は、市民活動やNPOが、地域運営の一翼を担う時代となった今、新しい地域課題に取り組む「地域プロデューサー」が育つ塾を目指しています。

「地域プロデューサー」とは、地域の課題を発見し、解決のための方策を考え、そのための運動や事業をおこなうことができる人であると考えています。

今回、第12期塾生募集にあたり、説明会を開催しますので、ご参加をお待ちしています! 「地域プロデューサー」に興味のある方、地域の課題解決に主体的に取り組みたいとお考えの方、是非ご参加ください!

【募集説明会日程】

※募集期間：3月15日(木)～4月15日(日) 17:00まで

- ◇3月30日(金) 19:00～20:00
米原市(米原市米原公民館 研修室3-B)
- ◇3月31日(土) 10:30～11:30
高島市(今津東コミュニティセンター会議室2)
- ◇3月31日(土) 14:30～15:30
大津市(ピアザ淡海県民交流センター302会議室)
- ◇4月6日(金) 19:00～20:00
守山市(守山市民交流センター1階交流室)
- ◇4月8日(日) 10:30～11:30
大津市(ピアザ淡海県民交流センター302会議室)
- ◇4月8日(日) 14:30～15:30
東近江市(アピア八日市研修室B)

編集後記

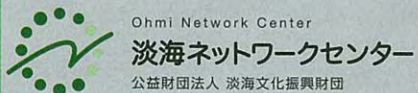
チッチの山口さんとは、育児サークルのお世話をしてくださっていた「絵本とおもちゃの店ころぼっくるの家」で一度お会いしていました。当時赤ちゃんだった娘は高校生になり、「いっごさん」は先輩ママから堂々たる支援先 になられていました。
(おうみネットサポーター 平井育恵)

今回取材し、改めて“食”の大切を感じました。活動のスタートはリーマンショック後。支援先に在日外国人も多く、地域性が反映されています。企業の食品は、中身に問題なくても少しの違いで規格外として廃棄されます。本当に“もったいない”と思いました。
(おうみネットサポーター 吉田遊介)

今回の取材で初めて、住民主体で運営しているスポーツクラブがあることを知りました。年代ごとに、そして年代を超えて楽しめる様々な活動の場が提供されているので、ぜひもっともっとたくさんの人に活用してもらえれば。
(おうみネットサポーター 高田友美)

淡海
おうみネット 81

●2012 春号●



淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
- TEL 077-524-8440
- FAX 077-524-8442
- http://www.ohmi-net.com
- E-mail:office@ohmi-net.com
- 開館時間 / 9:00～17:00
- 休館日 / 月曜日・祝日

●情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、びわ湖ホール、滋賀県国際協会、県内大学、県内NPO法人、県内市民活動センター、草津市立まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さきら、滋賀銀行、京都信用金庫、関西アーバン銀行、滋賀県信用組合、公民館、市役所、各地域環境総合事務所、県民情報室など

市民活動・人・企業との出会い広がる情報交流誌
「おうみネット」 掲載広告募集中!

- ★発行部数10,000部
- ★県内外の配布先約1,900カ所
- ★1枠(横9.3cm×縦3.5cm)15,000円

詳細は、当センターまでお問い合わせください!



コテージ、キャンプ、森林交流センター
バトルアスレチック、テニス、子どもミュージアム...



大自然に囲まれて、楽しくのびのび過ごしませんか?

家族や友人との団欒やパーティをはじめ、企業研修などの場としてもご利用頂けます。
(※スタッフ、若干名募集!詳しくはお問い合わせ下さい。)

ウッディパル 余呉 0749-86-4145
http://woodypal.jp
WOODYPAL YOGO 滋賀県長浜市余呉町中之郷260



この印刷物は再生紙を使用し、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インクを使用しています。